

本年度の戸倉上山田中学校の学校自己評価を、生徒・教職員のアンケート(内部評価)と保護者アンケート(外部評価)をもとにまとめました。まとめをご覧の上、来年度も本校の教育にご理解とご協力をお願いいたします。

I 学校自己評価の目的

学校自己評価は、戸倉上山田中学校グランドデザイン(以下GD)に示された学校の教育目標に基づく教育活動や学校運営の状況について自ら評価し、その結果を公表して『よりよい学校づくり』のために行うものです。

これによって、教職員は、教育活動や学校運営の成果と課題を明らかにすることができます。また、保護者や地域の皆様は、学校の目標や教育活動をより深く理解でき、共に学校をつくっていこうとする意識や態度をもつことができます。

本年度の教育課題と重点

「個々や地域・社会の教育的ニーズをふまえた学校生活を構築する」

1 学びづくり

⇒ 協働的な学びの質を高め、深い学びに導く授業改善を図る。

2 生活づくり

⇒ 「プライドファイブ」を生徒ともに徹底し安定した生活を構築する。

3 「働き方改革」の推進

⇒ 業務の見直し・効率化を図り、生徒のための時間を生み出す。

II 学校自己評価の方法

1 アンケートによる調査

(1) 生徒の授業生活評価・教師の授業診断

全校生徒を対象に、授業及び学校生活についてのアンケートを行い、日頃の授業や生活について分析しました。また、教師の自己診断も実施し分析しました。

(2) 保護者アンケート

本年度の重点目標にかかわる内容についてアンケート用紙に回答してもらい、12月の保護者懇談会で回収しました。回収率は約65%(昨年度約51%)でした。

(3) 教職員による自己評価

本年度の重点目標にかかわる具体的な教育活動について、年度末に向けて自己評価を行いました。

2 結果のまとめ方

肯定的か否定的かを明らかにするため、保護者アンケートの選択肢を【ア:十分 イ:だいたい ウ:あまり エ:全く オ:分からない】の5段階にしました(生徒、教職員アンケートは4段階)。

昨年度と比較するために、ア・イを肯定的ととらえて、全体に占めるア・イの割合を肯定率(%)としてグラフ化しました。

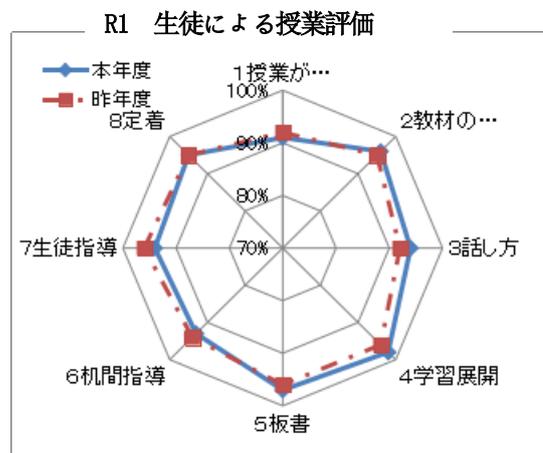
III 結果と考察 (GDIに示した検証方法に沿って)

1 「学びづくり」について

A 授業について

(1) 内部評価(生徒)

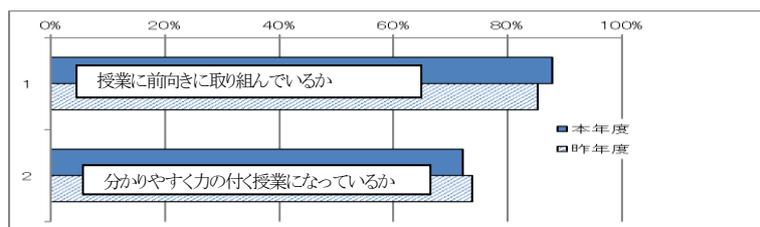
生徒を対象に授業に対するアンケートをとりました。内容は、①授業が分かるか ②教材の工夫 ③授業中の話し方 ④学習展開の工夫 ⑤板書 ⑥机間個別指導 ⑦生徒指導 ⑧基礎力定着 について、生徒がそれぞれの立場から日常の授業評価をしました。



全ての項目での肯定率が90%を超えました。しかし、1、6では昨年度よりそれぞれ1ポイント下回りました。また、7では2ポイント下回りました。その他は昨年度よりも肯定率が上昇しました。これは、一昨年度から実施を試みている「協働的な学び」を志向した授業により、生徒の学びに向かう姿勢がさらに向上しているとも考えられます。一方で生徒からは、質問できる環境作りや授業に集中していない生徒への指導などの要望もあります。生徒の声に答えられるよう、今後も指導力の向上を目指していきたいと思っております。

(2) 外部評価(保護者)

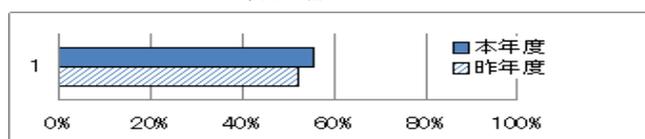
保護者の皆様からは、『授業に前向きに取り組んでいるか』について88%(昨年度85%)の方に、『力のつく授業になっているか』について72%(昨年度74%)の方に肯定的に見て頂いています。今後も分かりやすく力の付く授業を目指していきたいと考えております。



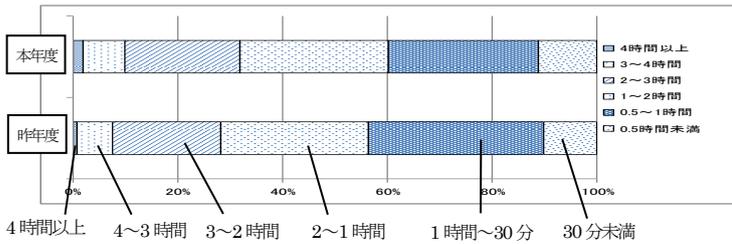
B 家庭学習について

お子さんの家庭学習を、『計画的に取り組んでいる』としている保護者の皆様は、昨年度の52%から56%に増加しました。また、家庭学習時間の内訳では、家庭学習1時間以上が60%と、昨年度より3ポイント上回りました。一方で、30分以下の生徒が1ポイント増えています。家庭学習の充実・自学自習の取り組みを目的としたつばさタイム・水曜SPを含めて家庭学習の指導を見直し、生徒の自主的な学習姿勢を醸成して、家庭学習時間を充実することができるような手立てや家庭との連携策を考えていきたいと思っております。

<家庭学習の取り組み>



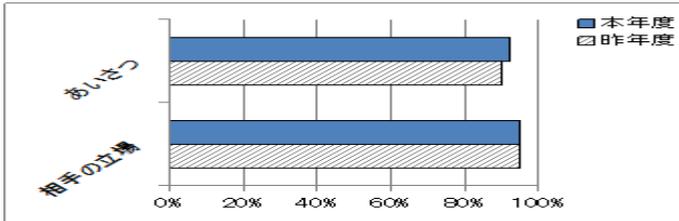
<家庭学習時間>



2 「生活づくり」について

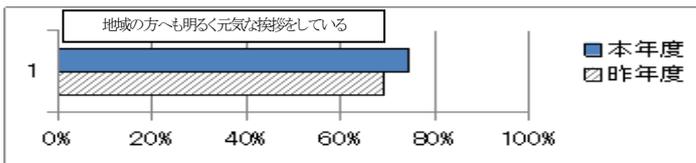
A 明るく元気な挨拶について

(1) 内部評価(生徒)



『明るいあいさつ』ができたとした生徒は96%で、昨年度より4ポイント上回り、『相手の立場や状況を考えての行動』がとれたとした生徒は昨年と同様の結果となりました。

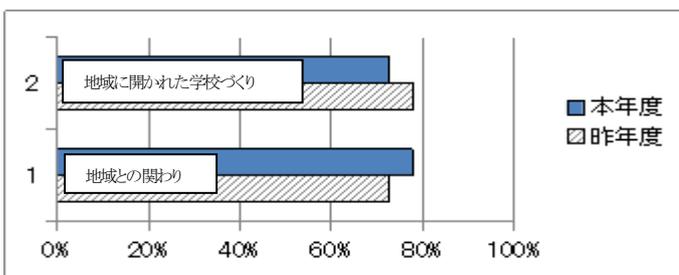
(2) 外部評価(保護者)



保護者の皆様からも、「戸上中の生徒さんは道ですれ違ってもとても良くあいさつをしてくれます。」「街頭指導時、毎年、小学生よりも中学生のあいさつの方がしっかりできています。」というご意見がある一方で、「あいさつはやる子とやらない子がいます。」「(あいさつは)個人差があると思います。」というご指摘もあります。生徒による差や、生徒たちの意識と周囲の見方とのギャップが大きいと感じています。あいさつは安定した生活を構築するための指標の1つと考えますので、今後も重点にしたいと思います。全校で問題を共有し、職員が具体的な指導をし、全校の意識を高めて改善していきたいです。

B 学校からの情報発信、地域との関わりについて

(1) 外部評価(保護者)



学校からの情報発信に関しては78%から73%に減少し、地域との関わりについては、肯定率が昨年度の72%から78%へと増加しました。今後はさらに地域との関わりを深め、各種通信等での情報発信を継続し、地域に開かれた学校づくりを目指していきたいです。

IV 保護者の皆様から

アンケートの中で、保護者の皆様から貴重なご意見や励ましの言葉をいただきました。以下にその一部を紹介します。

1 学びづくりについて

- これからの世の中で必要とされる力をつける授業を増やしたり、試していただきたいです。進路も点数で決めるのではなく、将来と結び付けて選択できるアドバイスもお願いします。
- 学力強化を希望します。授業と家庭学習のサイクルの定着がまだできていないのでしょうか。
- 学ぶことの趣旨の共有がもう少しあってもいいと感じました。「つばさタイム」での学習計画が何にあたるのか理解していないようです。学習の定着のサイクル自体はとても大切な事だと考えます。家庭学習自体は行っています。更に良いサイクルになることを望みます。

2 生活づくりについて

- 靴をそろえる、大きな声であいさつはとても大事なことだと思います。社会に出て恥ずかしくないよう取り組んでくださりありがたく思います。
- あいさつですが、やる子とやらない子がいますね。車で道を譲っても、頭を下げる子もいれば平然と通っていく子がいて何とも言えない気持ちになる事があります。

3 プライドファイブについて

- 学年が上がるにつれ、しっかり根付いている印象を受ける。それが下級生により影響を与えられているのではないかと。伝統になって受け継いでいってほしいと思った。
- 3年生にもなればできて当たり前になってくるかと思うのでワンパターンにならないように各自が更に掘り下げたり+αの考えを持てたりすればいいかと思います。
- このプライドファイブでの取り組みで子供達自身の頑張る気持ちや人の為に動く事、心をそろえる事での心の成長をととても感じました。3年間本当にありがとうございました。

4 部活動について

- 部活動の練習が多いと思う。練習試合も多く、土日がつぶれることもある。土日どちらか活動したら、どちらか休みを取ってほしい。大会1ヶ月前になったら朝練や延長部活となるが、長く時間を取ったから良い結果につながっているか疑問です。
- 社会全般的に部活動をやらないようになってきていますが、(先生方が大変な事もわかりますが…)もう少し昔みたいに部活動に力を入れてもいいと思います。
- 部活動は顧問の先生が専門とは限らないので、指導は外部コーチなどを入れてやれば先生の時間も増えるし、生徒も力を伸ばせる気がします。

5 その他

- 子供たちの気持ちを優先に十分にご指導いただいていると思います。これからどんどん成長していく(成人に向けて)子供たちに、時には厳しい指導もお願いします。
- いじめや体罰などがないよい学校だと思うが、思春期という心身共に成長する時期なので先生方の態度や言葉を敏感に感じ取ります。未熟なら未熟なりに誠意が感じられる教師としての言動をして欲しいと思います。先生方の何気ない言動はとても重要です。
- 全体的に先生方と生徒たちに活気があり戸上中で3年間お世話になることができてよかったと思います。